

市民文化



この十一月で開館七周年を迎える口ゼシアター。ことし四月には利用者数が三百万人を突破するなど、皆さんの文化活動の場として、また、文化情報の発信地として大きな役割を果たしています。

まもなく二十一世紀。口ゼシアターで生まれた文化の種が芽を出し、花開く時代がやってきます。今回、口ゼシアターを中心とした未来の市民文化について特集します。



市民創作ミュージカル「名残りの小袖」の一場面（平成十年）



過去の出演者が一堂に会した「MAY」コンサートスペシャル（平成十一年）

口ゼシアターの文化事業



10月15日にモーツアルトの名曲「レクイエム」を歌う市民参加の合唱団「口ゼシアター合唱団」。本番を間近に控え練習に力が入ります

市民と一体になつた文化事業を

口ゼシアターでは、これらの創作ミュージカルや、昨年の「市民合唱」第9の集いなど、ここ数年、多くの市民の皆さんのが参加できる事業にも力を入れています。

これからも市民の皆さんのが身近に文化に親しんでいただき、口ゼシアターと市民が一体となつた文化事業を進めています。

鑑賞・普及・育成・創作を柱にした自主事業

口ゼシアターの事業は、自主事業と貸館事業の二つに大きく分けられます。口ゼシアターが主催する自主事業には、音楽・演劇・古典芸能などの一流芸術家による公演を行い、皆さんに質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供する事業があります。また、「小・中学生の招待コンサート」、「青少年サマーミュージカルスクール」、また、富士市出身の新人演奏家による「MAYコンサート」など、将来の富士市の文化の担い手となる青少年などへの文化普及・育成事業に取り組んでいます。

そして、もう一つの大きな事業の柱が創作事業。これまでに「富士青少年国際音楽祭」の開催や、「ディアナ号」

や「曾我物語」など富士市ゆかりの物語を題材にした創作ミュージカルの上演など、富士市独自の文化を発信してきました。



ロゼシアター 発

21世紀の

ロゼシアターは鑑賞の機会を提供する場だけではありません。
市民の皆さんみずからが文化活動を行う場でもあります。
さまざまな文化活動に取り組む皆さん、積極的にロゼシアター
を利用し、それぞれの目標へ向けて練習に励んでいます。



木管アンサンブルグループ
「アンサンブルルフト」

ロゼシアターは
私たちのステージ



ダンスグループ「オールスター」

●市民グループの文化活動



女性コーラスグループ「ラ・カンタービレ・ローザ」



日本舞踊グループ「日舞研究会」

ロゼシアターは、二十一世紀の富士市の文化発信の拠点として、
市民の皆さんの文化活動をさらに応援していきます。

アターから

るグループの皆さんに、
文化活動に対する期待や



活動を通して感じること

鈴木 ロゼシアターで活動をしていると、家族や友人などが見に来る機会が多いですね。ですから、周りからの批評や意見はあまりなく、仲間内からの反応が多いです。それでも、みんながだんだん上手になっていくように感じます。

去年「第九の集い」に参加したのをきっかけに、合唱を始める。ことしは「ロゼシアター合唱団」の一員としてレクイエムの市民合唱に参加。



鈴木 敏正さん
(宮下)

思うのですが、やはりクラシック音楽はかたいイメージで見られてしまいしますね。

つくる人の意識と、見る人の意識を高めたい

立石 「富士市は文化レベルが低い」とよく言われます。ほかの地域のような活発な雰囲気もなく、観客もおとなしくてあまり反応がないですね。演じる側の資質を高めるのと同時に、見る人たちの意識も高め、育てることが大切ですね。その点では、展示会はとても活発だと思います。盛り上がった雰囲気がありますね。

唐国 そうですね。展示会に来てくれた人に、感想や意見などを書いてもらっていますが、何かのついでに見に来てくれる人も多いんですよ。せっかくロゼシアターの展示室を使うのですから、演奏会や演劇を見に来た人たちにも足を運んでもらえるとうれしいですね。

鈴木 ここ数年で、文化活動に対する環境はよくなっていると思います。ロゼシアターも、設備が整っていてすばらしい施設ですよね。ここを中心に文化の地盤が固まっていけば、もっと多くの皆さんにも文化の輪が広がっていくと思います。

遠藤 でも、何かをやっている人と、やつてない人との間の見えない境界がとても大きいような気がします。実際、いろいろなことに参加したい人は大勢いると思います。

鈴木 中でも女性は、結婚や出産などで、どうしても活動が途切れてしまう人が多いですね。それを何とかしてあげたいなと思います。子育て最中の女性も気軽に活動ができるよう、託児所を充実させたり、子供と一緒に参加できる企画があつたりしたらいですね。



唐国 純子さん
(大淵)

など、あらゆる角度からだれもが参加しやすいイベントがあればいいですね。それらを発信できる場がロゼシアターであつてほしいと思います。

一人でも多くの人に参加してもらえるように・・・

立石 市民文化というのは、行政などから与えられるものではなく、市民一人一人の中から生まれて、それらが結集して

市民全体で盛り上げていくものだと思いま

体験を通して、楽しさを感じてほしい

唐国 そのためにも、音楽や舞台や芸術

唐国 絵を描くことなら、子供と一緒にできますよね。私たちは、今は作品を発表する場しかなく、実際に創作の楽しさ

西村 私も遠藤さんのように、演奏をしている自分たちだけでなく、聞いている人たちも一緒に楽しんでくれます。

西村 私も遠藤さんのように、演奏をしていても同じように楽しんでもらいたいと

座談会

富士市の文化をロゼシ

ロゼシアター発
特集・21世紀の市民文化

ロゼシアターを拠点として活動してい
21世紀に向けて、これから市民文化や
思いなどを語っていただきました。

遠藤 ダンスも、体を動かすことが好きなら、年齢を問わずだれにでもできます。多くの人に参加してもらいたいのですが、富士市には私たちの活動を発表する場がありません。それが残念ですね。

西村 子供のころから、芸術にふれあえる機会があるといいですね。それをきっかけに、音楽や創作芸術の楽しさを実感してもらえば、もっと身近で自然なものとして身につくかも知れません。

ダンスグループ「オールスター」に所属。沼津、御殿場などのメンバーとの合同グループ。富士市では三年前から始め、練習にはロゼシアターの練習室を利用している。



遠藤 真希さん
(厚原)

フルートアンサンブル「ムジカ・ローザ」と「ラ・フルール」に所属。第四回MAYコンサート出演以来、ロゼシアターの事業へ数多く出演。



西村 三佳さん
(本名・渡辺) (伝法)

富士市で生まれた文化を、ロゼシアターで育てたい

唐国 エネルギーを持つて活動している人は、きっと大勢いると思います。ロゼシアターが「ここで発表してみたい」と思えるような場所であり、ここで生まれ育った人たちがいろいろなことを表現しやすい場所になれば、才能を持つている人たちが富士市でもどんどん育っていくと思います。

鈴木 そうですね。ロゼシアターがそういう場所であれば、市外で活動している人たちも富士市に戻つてくれると思うし、活発な文化も根づくと思います。

立石 ロゼシアターという立派な施設が私たちを表現できること。展示会や発表会

西村 「参加してみたい」と思う人が、だれでも気軽に参加できるイベントであつてほしいですね。



立石 光博さん
(久沢)

西村 こんなに楽しい世界がありますよということを、もっと多くの人たちに教えてあげたいですね。

鈴木 さらに、自分たちの活動を通していろいろな人たちとふれあうことで、自分の視野も広がりますね。

西村 最後に、皆さんは「こうして、違う分野の人々と一緒に活動する機会が、今後もあつたらいですね。ここにいる音楽、舞台、創作芸術の皆さんで協力し合って何か一つのことができたら、きっと樂しいでしょうね」と話してくれました。

が、活動に夢中になれる私たちの気持ちを知つてもらおうきっかけになり、さらに仲間がふえていつたらうれしいですね。立石 そのためにも、いろいろな活動をしていくべきだと思いますよ。

「日舞研究会」に所属。二年前、市民創作ミニージカル「名残りの小袖」に参加したのがきっかけで日本舞踊のおもしろさに引かれ、現在も続けている。